

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

8月24日 (水)

夏休み明けです。久々に元気な顔、元気な声がします。学校らしい学校です。4月から遅刻気味の子どもも、今日は早く学校に来て、さらに、笑顔いっぱいでした。バスから降りてくる子どもたちのハイタッチもニコニコタッチで元気よかったです。

安城先生が全校朝会にさきだって、「小3が一番早く来て、それも、一言もおしゃべりしないで待っていました。次に小2がきても同じようにしていて素晴らしい」という話をしました。

私は、中国語を夏休みにがんばったんだけど、どうもうまくいかなかった・・・という話をしました。学校便りには書かなかったのですが、平日は毎日学校に通う計画でしたので、用事や旅行で行けない日のレッスンを別な日にもって来ました。4時間という日や旅行に出かける前に1時間などということもありました。ほとんど意地で行っていた感じになりました。

夕方、帰宅途中に児童に会いました。「校長先生、水泳の練習してきたよ」とすごく元気がある声と表情で走ってきて報告してくれました。

8月25日 (木)

バスに乗るひととき、3年4年6年と図書館で一緒になりました。本を借りています。二冊三冊と借りていきます。読書力旺盛です。私のところに寄ってきて、「校長先生、三国志読んだことある？」と聞いてきました。マンガも小説も読んだことがあります。ただ、どうも名前を覚えるのが苦手なのですが、関羽はあたりました。台湾にも三国志に関わる方をまつっていると聞いたことがあります（すみません、あまりまだそこまで手を広げていません）

職員室にいと、「〇〇先生、宿題をもって来ました」と悪気はないようですが、片手で宿題を先生に差し出してしていました。つい、私は口を出してしまいました。「いつもに増して、遅れて出すのに片手もないだろう。なんて言って先生に渡すんだ？」などと言ってしまいました。もちろん本人は「はい、先生遅れてすみませんでした。宿題です。」と提出をしていました。

8月26日 (金)

台風が近づいています。という情報が安城先生から先生からありました。別紙でその場合の対応について配布いたしました。

教頭先生が、1時間目校舎巡りをして教えてくれました。夏休みの作品が教室に飾られています。おもしろかったですよ。と教えてくれました。

6年生では「イカの解ぼう」というがありました。おとうさんがもってきた3匹のイカをいろいろ解剖し、写真を撮ってありました。最後にはちゃんと無駄なくバター炒めやイカめしになっていました。

4月に来台湾の子どもも台湾や台湾人の観察をして日本との比較をしていました。

3時間目に4年生の授業がありました。作業時間が多かったので、4年生の作品も見回りました。教室の入り口にはペットボトルを利用した風鈴が涼しそうな音をたてていました。と言いたいです、部屋の中では風がないので揺らしてもらいました。夏休み前の全校集会でも紹介した微生物に興味をもった子どもやはり期待通りに微生物を調べていました。社会科の授業とちがって、水たまりをかきまぜそれをすくい、顕微鏡でのぞく。そして、それをネットで調べるという方法をとっていました。

女の子の作品は、地道に縫い物や書道などがあり、丁寧な作品だなと関心です。廊下であった子どもに聞いたら、作ったんだけど、台湾に戻るまでに粘土が乾かず提出ができなかった、という子どももいました。

デング熱情報

「デング熱」が先週高雄市でも9人罹患したという情報もあります。デング熱とはということで、ウィキペディアから抜粋します。

「デング熱は、一過性の熱性疾患で、東南アジア、インド、中米、南太平洋などに広く分布する。近年の、熱帯・亜熱帯地域の都市部におけるアウトブレイクには、急激な都市化が関連している。

現在のところワクチンはない。予防は蚊に刺されるのを防ぐことが重要。ヒトスジシマカ、日中活動し、室内にひそむ。

症状としては、潜伏期間は4日～7日。発症時は悪寒を伴って急に高熱を出す、3日程で急に37度あたりまで解熱、1日おいて39度あたりまで上昇し、2日程で再び急に解熱というようなM字型の熱型を示すことが多い。致命率は0.01～0.03%。

しかし、再感染した場合には、デング出血熱となって、口、目などから大量に出血するなど、デングショック症候群という病型になり、致死率3～6%になる。

台湾の最近の様子では、2007年に台南市で511人の感染が報告されている。2010年9月には、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ラオスなどで、それぞれ数万人規模の感染が報告され、拡大の恐れが出ている。」

と、書いてありました。

そういえば、昨日、町なかで白いマスクをした方々が消毒をしていましたが、それでしょうか。

